

伊豆東部火山群

○ 11 月の火山活動評価：静穏な状況

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

○ 11 月の活動概況

・噴煙など表面現象の状況

伊東市に設置してある遠望カメラでは、噴煙などの表面現象は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 1、図 2－①）

19 日に、伊東市城ヶ崎の東沖合 4 km 付近の深さが約 5～8km を震源とする地震が一時的に増加し、最大の地震は 11 時 58 分に発生したマグニチュード¹⁾ 3.7 の地震で、東伊豆町で震度 3 を観測しました。その後、この付近の地震活動は低調となっています。火山性微動及び低周波地震は観測されませんでした。

1) マグニチュード (M) は地震の規模を表します。資料中の M は暫定値で、後日変更することがあります。

・地殻変動の状況（図 2－②③④）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変動は認められませんでした。

○ 噴火警報、噴火予報の発表状況（12 月 6 日現在）

気象庁は平成 19 年 12 月 1 日より、伊豆東部火山群について噴火警報及び噴火予報の発表を開始しました。それに伴い、12 月 1 日に以下のような噴火予報を発表しました。なお、噴火警報、噴火予報と噴火警戒レベルについては気象庁ホームページを参照ください。

・活動状況及び予報警報事項：平常

火山活動は、これまでと変わらず静穏な状況で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。伊豆東部火山群の噴火予報・警報は、噴火予報（平常）です。

※ この資料は気象庁のほか、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

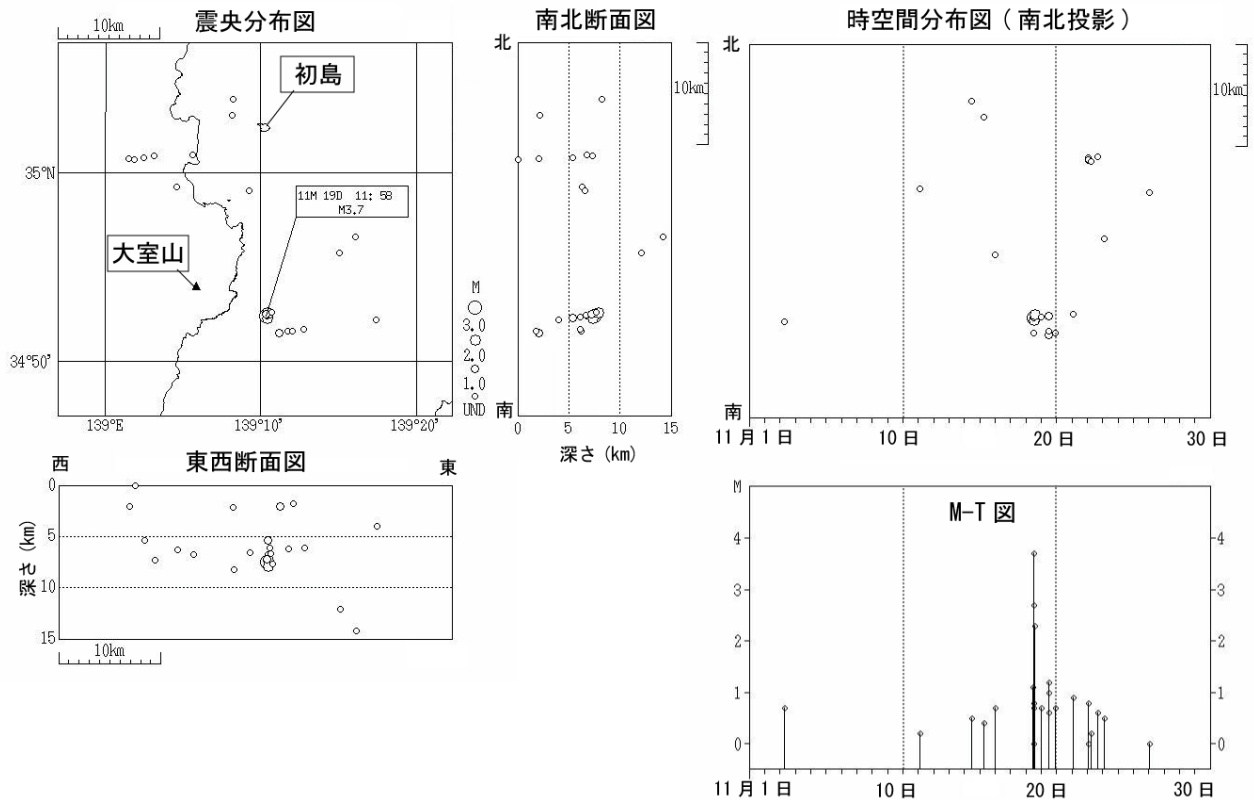


図 1 ※ 伊豆東部火山群 地震活動経過図（2007 年 11 月 1 日～11 月 30 日）

M（マグニチュード）は地震の規模を表します。図中の震源要素は一部暫定値であり、後日変更することがあります。

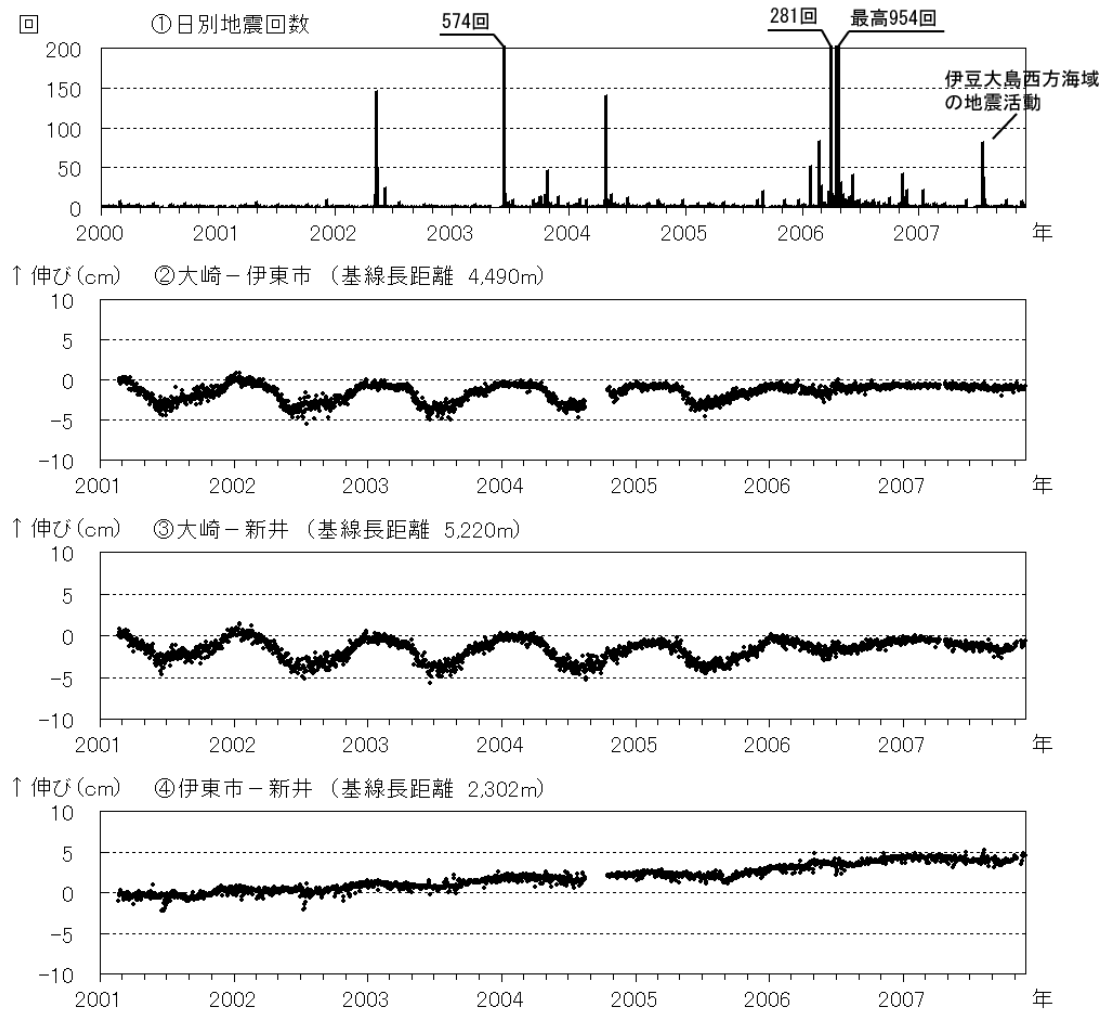


図2 伊豆東部火山群 最近の火山活動の推移（2001年1月～2007年11月）

- ① 鎌田地震観測点による日別地震回数
 - ②～④ GPS 連続観測による基線長変化（観測開始は2001年3月）
- 基線長変化に見られる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。
②～④は図3のGPS基線②～④に対応しています。

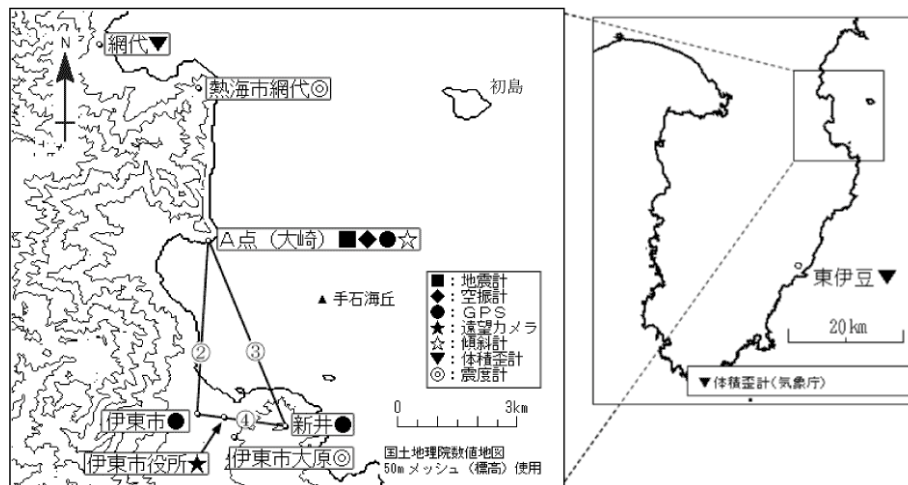


図3 伊豆東部火山群 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）
GPS 基線②～④は図2の②～④に対応しています。